

令和 5 年 6 月 5 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C)（特設分野研究）

研究期間：2016～2022

課題番号：16KT0181

研究課題名（和文）グローバル商品の誕生：世界の一体化初期局面の主要15品目の生産と多様な消費文化

研究課題名（英文）Birth of global commodities: Production and consumption of major 15 items during the initial phase of globalization

研究代表者

島田 竜登 (Shimada, Ryuto)

東京大学・大学院人文社会系研究科（文学部）・准教授

研究者番号：80435106

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究はグローバル化の初期局面を分析し、グローバル化の意味を歴史的に問うことを目的とした研究である。具体的には、16世紀から19世紀という期間において、地域的に全世界を対象とし、グローバル商品15品目の生産、流通、消費文化を検討した。さらに、グローバル商品の消費などをもとに文化圏を析出し、世界が多様な文化圏から構成されており、グローバル化の進展にもかかわらず、消費の立場からは多極化していたことを明らかにすることを試みた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

16世紀から19世紀にかけてのグローバル化の初期局面の特徴を実証的に明らかにし、生産や流通は確かにグローバル化し、量的にも拡大したが、グローバル商品の消費については依然として地域的な偏りがあり、世界の消費文化は多様であったことが判明した。また、こうしたグローバル・ヒストリー研究の成果を社会的に還元することにもつとめ、放送大学のテレビ講義や高等学校の世界史系の教科書に反映させることができた。

研究成果の概要（英文）：This research project aimed to investigate the meanings of globalization from a historical perspective by analyzing the globalization in its initial phase: First, the production, trade and consumption culture in the world were analyzed regarding the 15 global commodities from the sixteenth to the nineteenth centuries. Then, the project analyzed the consumption of global commodities and found out regional diversity of consumption culture in the world during the age of globalization.

研究分野：歴史学

キーワード：グローバル・ヒストリー グローバル経済史 世界の一体化 世界商品 貿易史 海域史 消費文化 多様性

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

世界的に見るとグローバル・ヒストリー研究は活況を見せている。かつては Immanuel Wallerstein による近代世界システム論があり、近年では Andre Gunder Frank によるリオリエント論や Kenneth Pomeranz による大分岐論などが著名であり、様々なグローバル・ヒストリーと称する研究書・一般書が数多く日本語に翻訳されている。

一方、日本ではグローバル・ヒストリー研究の立ち遅れがみられる。もちろんグローバル・ヒストリーの必要性は強く主張されているし、グローバル・ヒストリーを冠した日本人の手になる論文集なども出版されている。しかし、そうした日本のグローバル・ヒストリー研究は基本的に従来の歴史学の研究手法と比べ格段の変化はないのである。そもそも世界史ではなくグローバル・ヒストリーであることの意義は、その語の原義が globe、すなわち地球であることを考えてみればよい。つまり、地球規模からマクロな分析を志向するのが本来の姿のグローバル・ヒストリーであるのに対して、日本でのグローバル・ヒストリー研究の実態は本来の姿とは大きくかけ離れている。一国史をこえた地域的規模を舞台とする歴史研究であれば、それはすなわちグローバル・ヒストリーと考えられることもあるし、ただ単に各国史を並立させるパッチワークのごとくに並べただけでグローバル・ヒストリーと呼んだり、さらには数個の国を比較しただけでグローバル・ヒストリーと称している現状がある。また、海外のグローバル・ヒストリーが欧米中心の歴史叙述であることに反発して、「アジアから見たグローバル・ヒストリー」と銘打っているものもあるが、グローバルの原義と目的を厳密に照らし合わせてみると、過度に「アジア」を強調するのも疑問が残る。いずれにせよ、日本ではこれまで真の意味でのグローバル・ヒストリー研究がなされてきたのではないといっても過言ではない現状がある。こうした日本の状況を打開すべく、本研究は比較的広域的な視点からのグローバル・ヒストリー研究を試みることにした。

## 2. 研究の目的

16 世紀から 19 世紀という期間を研究対象とし、地域的にも全世界を対象とした。長期間にして全世界を個人研究の対象とすることは、日本の通常の歴史学研究では忌避されることであつたかもしれない。しかし、そもそも、この時期は近年の研究では世界史上の「初期近代(Early Modern Period)」、すなわち「近世」と呼ばれる時代である。南北アメリカ大陸やオーストラリア大陸を巻き込んで全世界的な人々やモノを介した交流が始まり、真の意味での世界の一体化が開始され、蒸気船や電信技術の発達で世界の一体化がより進展した 19 世紀後半まで「近世」は続いた。このいわば世界の一体化の初期局面においては、人やモノ、さらには情報を通じて、世界は複雑に相互に影響を与え始めた。グローバル化が進展した時期でもありながら、他方、グローバル化に抗する動きも顕在化した時期でもある。たとえば、本研究はモノを通じたグローバル化を分析するものであるが、一方、同じモノでも場所によっては用い方が異なっていたことにも着目する。モノは同じでも、消費文化圏ごとにその同じモノの持つ意味が異なっていたからである。本研究はこの消費の文化的差異に注目し、とくに流過程を担った人々が残したデータを分析することで、モノの生産のグローバル化と、依然として現在まで残る消費文化の反グローバル的な多様性を分析することで、世界の一体化の初期局面を分析し、グローバル化の意味を歴史的に問うことを目的とした。

## 3. 研究の方法

本研究では、第 1 段階として、16 世紀から 19 世紀におけるグローバル商品の生産、流通、消費文化について考察を行った。ここでの対象となるグローバル商品とはメタル(金、銀、銅、錫)、食糧(米、麦)、嗜好品(胡椒、砂糖、コーヒー、茶、アヘン)、織物と染料(綿布、生糸、蘇木、インディゴ)の合計 15 品目である。これを特に生産と消費を取り結ぶ流通・貿易に関するデータを中心に、生産地、生産量、輸出入量、販売地、販売量・価格のデータを収集した。すべての商品に関して時系列的に毎年データを集めることは史的にも不可能であるので、とくに、1550 年、1650 年、1750 年、1850 年というそれぞれの世紀の中葉をとり、これら 4 つの時点におけるデータを中心に集め、世紀ごとの変化を考察することが可能となるようにした。

本研究の第 2 段階としては、第 1 段階の研究で収集したデータとその分析結果を踏まえ、消費文化の立場から、世界各地を消費文化圏ごとに分ける作業を行う。たとえば、グローバル商品とはいえ、ある地域では砂糖は時間の経過とともに一般庶民が日常的に用いる一般品へと変化した地域もあれば、ある地域では一般庶民が日常的に消費するには至っていない地域もあった。また、アヘンはグローバルに流通するも、特定の民族による消費が多い。つまり、グローバル商品ごとの消費方法や文化から商品ごとの文化圏を析出し、世界が多様な文化圏から構成されており、グローバル化の進展にもかかわらず、消費の立場からは多極化する傾向を持っていたことが判明すると考えた。

## 4. 研究成果

基本的に当初に掲げた研究目的や研究仮説に沿う成果が、第 1 段階の研究と第 2 段階の研究それぞれにおいて得ることができた。グローバル商品の生産はまさに世界各地でなされ、量的にも拡大した。一方、消費地については一定の地域的偏りが生じていたことが判明した。これは生産や流通面においてグローバル化が進展しつつも、消費において地域的な文化的特性が存在し、世界の消費文化は多様であったといえる。ただし、本研究は 19 世紀までを研究対象としており、その後、現在に至る時期については不明であること、とりわけ地域的な消費文化が残存し、世界的に消費文化の多様性が存続したか否かについては今後の研究課題となるであろう。

なお、本研究は新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、6 年間の年月を要することとなったが、その間、日本におけるグローバル・ヒストリー研究は格段に進展した。本研究の研究代表者は、本研究などによるグローバル・ヒストリーの実証研究をすすめるほか、このような実証研究を基盤として、グローバル・ヒストリーの方法論の精緻化を試みたり、あるいはグローバル・ヒストリーの社会的普及にもつとめた。山川出版社から刊行されたグローバル・ヒストリー叙述のひとつの試みである歴史の転換期シリーズのうち 2 つの巻の編集を担当したり、岩波書店から刊行されている岩波講座世界歴史のうち、近世のグローバル・ヒストリーを扱う第 11 巻の編集に加わった。また、放送大学におけるテレビ講義「グローバル経済史」を担当したり、山川出版社の高等学校用教科書（歴史総合、世界史探究）の執筆を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計23件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Ryuto Shimada	4. 巻 -
2. 論文標題 Gold Trade between Japan and India by the Dutch East India Company	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada (eds.) Merchants and Ports in the Indian Ocean World: Across Sea and Land	6. 最初と最後の頁 44-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada	4. 巻 -
2. 論文標題 Introduction	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada (eds.) Merchants and Ports in the Indian Ocean World: Across Sea and Land	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada	4. 巻 -
2. 論文標題 Introduction: Connecting the Indian Ocean World	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada (eds.) Connecting the Indian Ocean World: Across Sea and Land, Routledge	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 オランダ東インド会社とバタヴィア：18世紀バタヴィアにおけるアジア域内貿易と本国貿易	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 籠谷直人・川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』臨川書店	6. 最初と最後の頁 300-321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 構造化される世界	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小川幸司、島田竜登編『構造化される世界 14～19世紀』岩波講座世界歴史 第11巻、岩波書店	6. 最初と最後の頁 3-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuto Shimada	4. 巻 123
2. 論文標題 The Bay of Bengal Trade in the Late Seventeenth Century and Armenian Merchants	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Asiatica: Bulletin of the Institute of Eastern Culture	6. 最初と最後の頁 53-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuto Shimada	4. 巻 123
2. 論文標題 The Bay of Bengal Trade in the Late Seventeenth Century and Armenian Merchants	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Asiatica: Bulletin of the Institute of Eastern Culture	6. 最初と最後の頁 53-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 オランダ東インド会社とバタヴィア：18世紀バタヴィアにおけるアジア域内貿易と本国貿易	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 籠谷直人・川村朋貴編『近代東南アジア社会経済の国際的契機』臨川書店	6. 最初と最後の頁 300-321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada	4. 巻 -
2. 論文標題 Introduction: Connecting the Indian Ocean World	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada (eds.) Connecting the Indian Ocean World: Across Sea and Land, Routledge	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ryuto Shimada	4. 巻 122
2. 論文標題 Introduction: Perspectives for Viewing Maritime Asian Society during the "Long Eighteenth Century"	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Asiatica	6. 最初と最後の頁 iii-xv
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 大航海時代	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 社会経済史学会編『社会経済史学事典』丸善出版	6. 最初と最後の頁 426-427
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 特許会社	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 社会経済史学会編『社会経済史学事典』丸善出版	6. 最初と最後の頁 56-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 近代世界システム	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 金澤周作監修『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房	6. 最初と最後の頁 126-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuto Shimada	4. 巻 -
2. 論文標題 Tayowan as a Global Center: Trade and Agricultural Development in Taiwan by the Dutch East India Company during the Seventeenth Century	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Liu Yi-chang and Ann Heylen (eds.), Nanying History, Society and Culture V: Early Tainan Region, Tainan: The International Center of Tainan Area Humanities and Social Science Research	6. 最初と最後の頁 205-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuto Shimada	4. 巻 -
2. 論文標題 South Asian Settlers at Batavia in the Seventeenth and Eighteenth Centuries	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Rila Mukherjee and Radhika Seshan (eds.), Indian Ocean Histories: The Many Worlds of Michael Naylor Pearson, London and New York: Routledge	6. 最初と最後の頁 124-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 「長期の一八世紀」の世界	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 秋田茂編『グローバル化の世界史』ミネルヴァ書房	6. 最初と最後の頁 147-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 アジア海上貿易の転換	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 島田竜登編『1683年 近世世界の変容』山川出版社	6. 最初と最後の頁 18-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuto Shimada	4. 巻 -
2. 論文標題 Southeast Asia and International Trade: Continuity and Change in Historical Perspectives	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Keijiro Otsuka and Kaoru Sugihara (eds.) Paths to the Emerging State in Asia and Africa, Singapore: Springer	6. 最初と最後の頁 55-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 近世海域アジア世界とオランダ東インド会社の日本貿易	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 荒野泰典編『近世日本の国際関係と言説』溪水社	6. 最初と最後の頁 187-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 ケンベルとシャム 一七世紀末のタイ・アユタヤ朝の一断面	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 川分圭子・玉木俊明編『商業と異文化の接触 中世後期から近代におけるヨーロッパ国際商業の生成と展開』吉田書店	6. 最初と最後の頁 777-798
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 島田竜登	4. 巻 -
2. 論文標題 史上初のグローバル・カンパニーとしてのオランダ東インド会社	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 羽田正編『グローバル・歴史の可能性』山川出版社	6. 最初と最後の頁 287-303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuto Shimada	4. 巻 -
2. 論文標題 Invisible Links: Maritime Trade between Japan and South Asia in the early Modern Period	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 A.J.H. Latham and Heita Kawakatsu (eds.), Asia and the History of the International Economy: Essays in Memory of Peter Mathias, London and New York: Routledge	6. 最初と最後の頁 57-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 島田竜登	4. 巻 32
2. 論文標題 モノに問う歴史学 グローバル・歴史の一つの方法	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 比較文明	6. 最初と最後の頁 39-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計27件 (うち招待講演 7件 / うち国際学会 23件)

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Tenasserim: The Siamese Gateway for the Maritime Trade in the Indian Ocean in the Early Modern Period
3. 学会等名 XIX World Economic History Congresses (WEHC), Ecole des hautes etudes en sciences sociales (EHESS), Paris, France (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Junk Trade between Japan and Southeast Asia during the Ming-Qing Transition Period in the Mid-seventeenth Century
3. 学会等名 An International Workshop to Celebrate the 25th Anniversary of the Journal Ming Qing Yanjiu, Oriental University of Naples, Online (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Persian, Armenian, and Dutch Merchants in the Trade between India and Siam during the Early Modern Period
3. 学会等名 65th International Conference of Eastern Studies (ICES), The Toho Gakkai, Tokyo Session, Online (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 島田竜登
2. 発表標題 近世長崎出島のアジア人奴隷
3. 学会等名 国際商業史研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Latin American Silver into Tokugawa Japan
3. 学会等名 Workshop: The Pacific Rim from Global Historical Perspectives, 1492-2018 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 島田竜登
2. 発表標題 シンポジウム趣旨説明：「長期の18世紀」と海域アジア 港市と農村の社会变化
3. 学会等名 2019年度東方学会秋季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Keynote Lecture: Nagasaki: A Gateway of Tokugawa Japan to the World Economy
3. 学会等名 Expert Meeting: Between Realism and Reality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Commodity Chain and Cultural Divergence
3. 学会等名 Workshop: Categories at Work in Global History (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Japanese Views of the World from a Historical Perspective
3. 学会等名 German-Japanese Joint Symposium: Cultures in Translation: World History - World Literature - World Society: Japan, Germany and the World in a Transcultural Comparison (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Intra-Asian Trading Networks and the Dutch East India Company during the Seventeenth and Eighteenth Centuries
3. 学会等名 International Symposium: Global History and Hybrid Political Economy in Early Modern Eurasia, c. 1550-1850 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Maritime Traders and Trade Pattern in Transition in South Asia and Southeast Asia in 1780-1870: A Case Study of Java
3. 学会等名 XVIII World Economic History Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Global Copper Trade in the Seventeenth and Eighteenth Century
3. 学会等名 XVIII World Economic History Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Competition in the Indian Sales Market for Copper between Dutch and English Companies during the Eighteenth Century
3. 学会等名 XVIII World Economic History Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 The Pacific Rims in Global History
3. 学会等名 International Workshop: The Pacific Rim from Global Historical Perspectives, 1492-2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 島田竜登
2. 発表標題 グローバル・ヒストリーのなかの産業革命と技術革新：現在への示唆
3. 学会等名 第23回進化経済学会オートムコンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Christopher David Absell
2. 発表標題 Market Potential, Relative Prices and Agricultural Specialisation: the Rise of Coffee in the Brazilian South-east, 1825-1840
3. 学会等名 XVIII World Economic History Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Maritime Asian Trade in the Eighteenth Century from Global Perspectives
3. 学会等名 Seminar at the Department of Asia, Africa and Mediterranean, "L' Orientale" University of Naples (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Competition in the Indian Sales Market for Copper between Dutch and English Companies during the Eighteenth Century
3. 学会等名 Fifth European Congress on World and Global History (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Tainan as a Global Center: Global Trade and Agricultural Development by the Dutch East India Company in the Seventeenth Century
3. 学会等名 The Fifth International Conference on Tainan Area Studies: Political, Economic, and Cultural Development of the Early Tainan Region (10th-18th Century) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 島田竜登
2. 発表標題 グローバル・ヒストリーは共生の歴史学となりうるのか？
3. 学会等名 比較文明学会第35回大会シンポジウムII「暴力を乗り越えることができるか」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 The Japan Trade by Persian Settlers at Ayutthaya in the Seventeenth Century
3. 学会等名 Workshop: "The Persian Gulf as a Global Commercial Sphere, 1500-1800" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 The Growth of International Trade in Early Modern and Modern Southeast Asia
3. 学会等名 International Workshop on Emerging States in Global Economic History (2) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 The Sugar Trade by the Dutch East India Company and its Rivals for the Japanese Market in the Seventeenth and Eighteenth Centuries
3. 学会等名 Workshop: Maritime Worlds around the China Seas: Emporiums, Connections and Dynamics (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Java Connected with the Global Economy: A GIS-based Analysis of the International Trade of Java during the Nineteenth Economy
3. 学会等名 The 2nd Workshop on Asian Trade Networks: GIS-based Global History from Asian Perspectives (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Java Connected with the Global Economy: A GIS-based Analysis of the International Trade of Java during the Nineteenth Century
3. 学会等名 The 5th International Conference on Asian Network for GIS-based Historical Studies: State of the Art in Historical G.I.S. in Asia (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Vietnamese Trade with Japan in the 17th and 18th Centuries
3. 学会等名 Conference: Vietnam and Korea as "Longue Duree" Subject of Comparison: From the Pre-modern to the Early Modern Periods (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryuto Shimada
2. 発表標題 Gold Trade between Japan and India by the Dutch East India Company
3. 学会等名 JSPS-ICSSR Joint Seminar: Commodities, Markets and Merchants in the Indian Ocean World, 1500-1860 (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada (eds)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 148
3. 書名 Merchants and Ports in the Indian Ocean World: Across Sea and Land	

1. 著者名 小川幸司、島田竜登編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 304
3. 書名 『構造化される世界 14～19世紀』岩波講座世界歴史 第11巻	



1. 著者名 Radhika Seshan and Ryuto Shimada (eds)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 142
3. 書名 Connecting the Indian Ocean World: Across Sea and Land	

1. 著者名 島田竜登編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 272
3. 書名 『1789年 自由を求める時代』	

1. 著者名 島田竜登編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 270
3. 書名 『1683年 近世世界の変容』	

1. 著者名 水島司・島田竜登	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 232
3. 書名 『グローバル経済史』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
オランダ	ライデン大学			
イタリア	ナポリ東洋大学			
インド	ブネー大学			